夫婦間コミュニケーションの日米差の言語学的分析 ― 映画『Shall we ダンス?』をもとに ―

大川英明*1

Linguistic analyses of differences in communication between wedded pairs in Japan and America: Analyses based on the Japanese movie "Shall We Dance?" and its Hollywood remake

Hideaki Okawa*1

The purpose of this research is twofold. It claims that there are differences in verbal communication between wedded couples in the Japanese movie "Shall We Dance?" and its Hollywood remake. The Japanese original depicts the conjugal communication as rather quiet at difficult times, whereas its Hollywood counterpart depicts the communication as confrontational. This contrast can be perceived in the two versions of the movies, and this research will attempt to explain this perception by analyzing the related scenes from all linguistic levels from phonetics to discourse analyses. Another purpose of this research is to analyze dialogues during similar situations in the Japanese and U.S. movies in question, and to propose a concept related to adjacent pairs to capture related examples in the dialogues, which are called here "extended adjacent pairs".

1. はじめに

本稿の目的は二つある。一つは夫婦間のコミュニケーションに関して、日米の映画に表れる違いを、言語学における音声学から談話分析までの諸領域から分析することにより、夫婦間の言語コミュニケーションと夫婦の関係性の違いを明らかにすることである。もう一つは言語学的な分析の一部として台詞の談話分析を行うが、扱う夫婦間の対話から談話分析の基本的な概念である「隣接ペア」の概念を拡張し、日米版の映画の台詞に現れる現象に新たな分析を加えることである。

夫婦間の言葉によるコミュニケーションの実 態を探るために実態調査をしようとするとイン フォーマントの確保の難しさに遭遇する。実際の会話データを取ることには難しさが伴う。そこで、自然な発話ではないが、可能な分析対象としてドラマや映画を利用することが考えられる。当然のことながら、ドラマや映画の脚本は個人が作るものであるが、基本的には文化的な側面が自然に表われる。統語論の議論でも言語学者の直感に基づいて創作された文法的、非文法的な文を使い、理論的な議論が行われているので、本稿において分析する日米の映画の台詞は自然な会話と変わらないと判断し、この前提のもとで、分析し、議論を進めることにする。

本稿では原作が日本映画であり、それが米国でリメイクされた『Shall we ダンス?』^{注1}をもと

^{*1} 日本大学国際関係学部国際総合政策学科 教授 Professor, Department of International Studies, College of International Relations, Nihon University

に、夫婦のコミュニケーションの日米差が映画に も内包されることを言語学的な分析を用い、証明 する。また、特に映画の後半で夫の秘密が明らか になったときの夫婦の対話を取り上げ、談話分析 を行い、その中で隣接ペアの概念の拡張を試みる。

2. 日本映画『Shall we ダンス?』と米国リメイク版『Shall We Dance?』

本稿における分析対象は日本映画『Shall we ダンス?』と米国映画『Shall We Dance?』である。日本版が原作であり、米国版がそのリメイク版である。日本版は脚本、監督とも周防正行であり、日本という文化的な脈絡で作成されているので、そこには日本の文化や日本社会が反映されていると考える。これに対し、米国版は基本的な筋は日本版を踏襲しているが、日本版で米国人には理解できないような場面は削除され、夫婦以外の登場人物の設定が異なっており、また、夫婦の表現内容や相手に対する態度が明らかに米国文化に合うように改変されている。両国版に共通の筋は次の通りである。

(1) 共通の筋書き

家も妻子もあり、安定した仕事と生活を手に入れて いた中年の主人公である夫が単調な生活を送っていた 時に、通勤電車から見える社交ダンス教室の若い女性 教師に惹かれ、妻に内緒でダンスを習い始める。妻は 夫の異変に気づくが、質す勇気がなかったので、探偵 に調査を依頼した結果、夫が社交ダンスを習っている ことを知る。夫はダンスに打ち込み、大会に出場する まで上達するが、大会では探偵に知らされて見に来て いた妻と娘の存在に気づき、演技中に集中力を失い、 ダンスパートナーのコスチュームを踏むという大失敗 をし、ダンスが終わる。そのあと、映画では夫婦が初 めてダンスをめぐり、話し合う。ダンス教室の先生が イギリスにダンス留学することになり、夫がサヨナラ ダンスパーティーに行くかどうかが最後の見どころで あるが、パーティーの最後のダンスになったときに現 れ、ダンスの先生と踊る。

筋はほぼ同等であると認められるが、当然のこと ながら、米国版では米国の観客が理解し、受け入 れられるように、日本版に含まれる諸要素が削除 されたり、米国文化に適合するように、改変されたり、また、本稿で詳しく分析する言語表現にも大きな変化が加えられている。以下、夫婦間のコミュニケーションの特徴を概観し、その次に両映画における夫婦間の会話の分析をすることにより、日米の夫婦の描写方法に関する差異を明らかにする。

3. 映画『Shall we ダンス?』とリメイク版 『Shall We Dance?』における夫婦の会話 分析

3.1 基本的な描写の相違

日米版『Shall we ダンス?』では映画の前半における夫婦の会話は日常生活上の簡単なやり取りしかない。夫婦関係の強化のための会話や比較的大きな問題につい話し合うというような場面もない。ところが、ダンス大会で相手のコスチュームを踏み、破いてしまうという失敗のあと、夫婦が話し合う場面がある。真剣に話し合うが、そこでの会話に日米の夫婦像の違いが表れている。この場面が夫婦間の会話量が最も多い。この対話を含め、その後の夫婦間のコミュニケーションを以下で掲載し、それを基に種々の分析を試みる。なお、米国版には含まれる娘の発話は省略し、また、状況理解のために次の台詞には第3者の発話を記載したが、本稿における夫婦の会話の分析からは除外する。

- (2) a. 日本版の夫婦の対話:ダンス大会で失敗 したあと、自宅で
- J01 杉山 知ってたのか。
- 102 昌子 ええ、ずっと前から。
- J03 だけど、なんだか怖くて言い出せな かった。
- J04 いつかあなたが話してくれるって信じ てた。
- J05 だけど、なんにも教えてくれなかった。
- J06 最初は浮気かと思ったわ。
- J07 ダンスだってわかった時はちょっと安 心したけど.
- J08 どうしてダンスなのか理解できなかっ た。

- J09 でも, あなたは生き生きしてた。
- J10 あたし一人だけ取り残されたような気がした。
- J11 そして、今日のあなたを見て、ますま すわからなくなった。
- J12 なんだか悔しいの。
- J13 相手がダンスでも、やっぱり浮気だと 思った。
- J14 杉山 浮気じゃない。
- J15 本気だった。
- J16 さっきまでは…
- J17 昌子 さっきまで?
- J18 杉山 そう。
- [19] でも、今日でダンスは終わった。
- I20 昌子 なんで?
- [21] あたしのせい?
- J22 あたしのせいにするのね。
- J23 杉山 違う。
- J24 そうじゃない。
- J25 しょせん俺には似合わない世界だった んだ。
- (2) b. 日本版の夫婦の対話:先生のためのさよならダンスパーティー前日の会話
- J26 昌子 あした行くの?
- J27 杉山 ええ?
- J28 昌子 先生, イギリス行っちゃうんでしょ う?
- J29 杉山 はあーっ,何でも知ってるんだな。
- J30 昌子 あたし、あなたに謝らなきゃいけない ことあるの。
- J31 探偵雇ってあなたのこと調べてもらったの。
- J32 自分で確かめるの怖かった。
- J33 あなたはまじめな人だから。
- J34 あなたのこと愛してるから。
- J35 ね, お願い。
- J36 明日、パーティーに行って先生と踊って。
- J37 そして、ダンス続けて。
- J38 毎日つまらなそうに会社に行ってるあ なた見てるより、生き生きしてるあな たを見てたい。

- J39 あたしにも,ダンス教えて。
- J40 あなたが先生と踊りたいと思ったよう に、私もあなたと踊ってみたいの。
- J41 杉山 もう, いい加減にしてくれ。[強い口調]
- J42 俺はダンスはやめたんだ。[強い口調]
- (2) c. 日本版の夫婦の対話: 自宅の庭でダンス をしながら
- J43 杉山 寂しい思いさせて、悪かった。
- (3) a. 米国版の夫婦の対話:ダンス大会での失 敗の直後の駐車場での会話
- E01 John Beverly!
- E02 Wait a minute.
- E03 Wait.
- E04 Wait.
- E05 Beverly, how did you know?
- E06 Bev Because I hired a detective.
- E07 Yeah.
- E08 I thought you were having an affair.
- E09 It's ridiculous. I know.
- E10 OK.
- E11 I feel … [第3者が話しかけてくる]
 - 第3者 Hey, listen, that was really bad luck.

 Don't worry.

There's always next year.

- E12 Bev Oh, "there's always next year."
- E13 Thanks.
- E14 Well, I have a whole year to prepare for it.
- E15 John Beverly, please, please ...
- E16 Bev No
- E17 John Beverly, can we talk ...
- E18 Bev No, there's nothing to talk about.
- E19 John Please.
- E20 Will you please stay here ...
- E21 Stop. [去ろうとする妻の車を止めよ うとする]
- E22 No.
- E23 Please, will you talk to me?
- E24 Bev If you want to talk, you can start by

explaining what was it that I just saw in there.

E25 What did I witness?

E26 John I'm not having an affair.

E27 There was not aff … [後ろの車の運転手が話しかける]

第3者 What's goin' on?

Let's go. [妻の車が渋滞を引き起こしている]

E28 John They're new friends.

E29 Bev But you could've told me about it, couldn't you?

E30 You just completely left me out. E31 Why didn't you tell me, John?

E32 You've got to answer that.

E33 John $\,$ I was ashamed \cdots

E34 Bev Ashamed of what?

E35 Of dancing?

E36 John Well, no, no…

E37 Bev Well, then of what?

E38 Of wanting to be happier.
E39 When we have so much.
E40 And it's not your fault.

(3) b. 米国版の夫婦の対話:家での会話

E41 John The one thing I am proudest of in my whole life is that you're happy with me.

E42 If I couldn't, if I couldn't tell you that I was unhappy sometimes, it was because I didn't want to risk hurting the one person I treasure most.

E43 I'm so sorry.

まず、日本版では妻(昌子)の発言量は多いものの、台詞や演技からも、夫がダンスをしていることを秘密にしていたことについては詰問するという雰囲気でないことがわかる。映画を見ると比較的静かな対話になっていることが感じられる。

一方、米国版では特にダンス大会での失敗の直 後の夫婦の会話では明らかに妻(Beverly)が対 立的な雰囲気で夫がダンスを始めた理由を詰問し ている。

日米版の映画のこの場面の描写からは次のよう な違いがわかる。

- (4) 日本版
 - a. 静かな対話
 - b. 妻は自分の気持ちを説明
 - c. 妻は批判するのではなく, 部分的に夫を評価
 - d. 夫婦関係の崩壊の危機感はない
- (5) 米国版
 - a. 険悪な雰囲気の対話
 - b. 妻は夫の説明を強く求める
 - c. 夫が秘密にしていたことを批判
 - d. 夫婦関係の危機を感じさせる

この差異は映画を見比べれば、明らかであるが、 それはどこから来るのであろうか。

以下ではどのような言語学的な分析がどのような談話理解に関係して来るかを検討する。映画の台本は文学的な分析も可能であろうし、談話分析(ディスコース分析)も可能であるが、管見では言語学の様々な領域の分析を加えた映画の台本、または談話分析の試みは見当たらないので、この意味で新しい分析を提案することになる。具体的には音声、語彙論、統語論、意味論・語用論、談話構造からの分析が(4)と(5)の解釈をどのように支持するかを明らかにする。

3.2 音声的側面

文字のみの文学作品には音声情報が付随しないが、映画や演劇は台本に音声が加わり、台詞となり、より豊かな表現が可能になる。自然な日常会話に近づく。

音声情報からは、他の言語学の領域と同様、社会言語学的情報や話者の感情など、様々な情報が得られる。当該映画の分析対象となる場面では、特に(2a)と(3a)の場面に大きな差異が認められる。日本版の(2a)ではダンス大会での夫の失敗のあと、その夜に家で会話が行われるという状況にも影響されていると思われるが、夫婦とも音声的側面をみると、特に速度、強調の面での値は平常で、静かな対話となっている。一方、米国版の(3a)では対話自体がダンス大会での失敗が

あった直後の駐車場で行われているという設定に 関係があるが、音声面では発話速度が高く、音声 的に感情が高ぶったときに見られる現象が認めら れる。そのうちの1つは、特に白熱した議論や感 情的な会話の時にみられる発話の遮り・重なりの 例である。

(6) 音声情報: 遮り・重なり

	日	米
1		夫:Beverly, please, // please … [E15] 妻://No. [E16]
2 3	0	夫: Beverly, please, // can we talk … [E17] 妻: //No, there's nothing to talk about. [E18] 夫: // Please. [E19]
4		夫:I was ashamed // … [E33] 妻:// Ashamed of what? [E34]

//は発話の遮り、発話の重なりがあることを示す。

日=日本版, 米=米国版

日本版では発話の遮りや重なりが全くないのに対 し、米国版の分析対象とした場面では4組が認め られた。この音声的な差は(4)と(5)の基本的な 違いと呼応する。

もう一つの音声的な情報は激しい口調注2であ る。これも、熱がこもった議論や感情的になった 会話に現れるが、当該場面でも認められる。

(7) 音声情報:激しい口調

	日	米
1	夫:もう, いい 加減にして くれ。 [J41]	妻: If you want to talk, you can start by explaining what was it that I just saw in there. [E24]
2	夫:俺はダンス はやめたん だ。 [J42]	妻: You just completely left me out. [E30]
3		妻: Why didn't you tell me, John? [E31]
4		妻:You've got to answer that. [E32]
5		妻:Ashamed of what? [E34]
6		妻: Of dancing? [E35]
7		妻: Well, then of what? [E37]

この範疇では日本版が2例であるのに対し、米国 版では7例あり、この面で後者のほうが感情がよ り表れていることがわかる。ここで注目すべきは 日本版で激しい口調で発話しているのは全て夫で あるが、米国版では全て妻であるということであ る。日本版では妻の態度はあくまでも夫に従うと いう伝統的な妻として描かれていることに呼応し ているようであるが、一方、米国版では社交ダン スをしていることを秘密にしていた夫に妻が激し く詰問するという基本的な違いと合致している。 このように音声的な面も夫婦の描写の違いに関与 していることがわかる。

3.3 文レベルの分析

次に、文レベルにおいて映画における当該場面 の分析を試みる。ここでは統語論を文レベルの構 造と意味を扱うものという定義に基づき分析す る。つまり、二つ、またはそれ以上の文が関わる 現象は談話分析 (ディスコース分析) の対象とす る。また、文の意味に関しては統語論と密接な関 係があるので、一つの文の意味・解釈もここでの 分析に含めることとする。

統語論に関わる分析は台本や文学作品の分析に ついてはさほど関連しないように思われるかもし れないが、特に会話の分析では一定の情報を得る ことができる。

まず、文の数に関する分析である。特に対話で はある場面の対話者の発言における, 文や表現の 数から誰がより多く発話しているか、だれが会話 の主導権を持つか、または、誰が寡黙になってい るか、などがわかる。そこで、『Shall we ダン ス?』の分析対象場面における夫婦の発話文^{注3}数 を調べると、次のようになっていることがわかる。

表-1 統語情報:発話文の数

	日	米
妻の発言回数	29	20
夫の発言回数	14	23
合計	43	43

これを見ると、日本版では妻の発話数が多く、米 国版では夫婦がほぼ同じ発話数になっていること がわかる。対話の場合、交互に発言することが多 く、従って、発言数が同等になることが望まれる

が、対照的に一方が話し続けることもある。これは一方が話の中心となり、もう一方が聞き手役になる場合である。つまり、夫婦別に発話連続の最 長数を調べると次のようになる。

表-2 統語情報:連続発話の最長数

	日	米
妻	12	6
夫	3	5

日本版では妻の連続発話の最長数が12であり、 夫が3であるので、日本版では夫が多くは語らない状況がわかる。米国版では夫婦の連続発話の最 長数はほぼ同等である。

表-1と表-2のデータから、日本版では妻のほうが圧倒的に発言数が多い。しかしながら、3.2節の音声的特徴を加味し、さらに以下の議論を合わせると、発言数が多いことが必ずしも妻が批判的に発言していることにはならないことがわかる。一方、米国版は夫婦の発言の数からの分析によると、同等の数の発話の交換が行われている様子がわかる。これも日米版の違いを表わしている。

文のタイプの種類は多くない。平叙文, 疑問文, 命令文, 感嘆文, 機能的には依頼文などである。会話の中での文タイプからはある程度, 発話の特徴づけが可能である。分析対象場面では平叙文が多いが, 特徴的なのは命令文の数である。ここでは文のタイプに加え, 機能的に依頼や命令を表す表現(句, 平叙文, 等)も含め, 発話者が相手に何かを要求, 依頼, 命令をする意味を持つ表現の数を求めた結果が表 - 3 である。

表-3 統語情報:命令文・依頼文・要求文

		日	米	台詞中の具体例	
	妻	0	1	You've got to answer that. [E32]	
命令文	夫	0	4	Wait a minute. [E02] Wait. [E03] Wait. [E04] Stop. [E21]	
依頼文	妻	4	0	ね, お願い。[J35] 明日, パーティーに行って 先生と踊って。[J36] そして, ダンス続けて。[J37] あたしにも, ダンス教えて。 [J39]	

依頼文	夫	1	5	もう、いい加減にしてくれ。 [J41] Beverly, please, please … [E15] Beverly, please, can we talk … [E17] Please. [E19] Will you please stay here …? [E20] Please, will you talk to me?
				Please, will you talk to me? [E23]

日本版では「~しろ」「~するな」表現はなかった。日本語の命令文は英語の命令文と異なり、かなりきつい表現であるので、使用域は相対的に狭いという違いがあるが、表-3の結果からは、日本版では妻が夫に依頼を述べることが優勢であるが、米国版では圧倒的に夫が依頼・命令をしているという状況が理解できる。

しかしながら、発話例の数字だけを見ていて も、当然のことながら、全体像を正しく把握する ことには繋がらない。つまり、数字は一つの傾向 を表すが、状況の解釈には文の意味や意図を考え る必要がある。

日本版における妻の依頼文は夫にダンスを続けて欲しいという願いを表わしている。夫が社交ダンスについて秘密にしていたことを特に非難することなく、むしろ続けてほしいと頼んでいる。これに対し、米国版では依頼をするのは主に夫である。夫はダンス会場付近の駐車場から去ろうとする妻に対しひたすら待って欲しい、話させてほしいと懇願している。日米版では依頼をする人と内容が全く異なる状況を表わしていることが、統語論的・意味論的な分析からも導き出される。これも(4)(5)の違いに関連している。

次に、ダンス大会の失敗のあとの夫婦の会話における夫の質問にも微妙な違いが反映されていることを、使われている疑問語の違いから分析できることを明らかにする。

- (8) 統語情報: 夫の最初の質問
 - a. 知ってたのか。[J01]
- b. Beverly, how did you know? [E05] 日米版とも文のタイプは疑問文であるが, 日本版 ではYes-No 疑問文が使われ, 米国版ではWh-疑

問文のうちの"how"型疑問文が使用されている。 社交ダンスの大会に来るはずのない妻と娘が見に きていたので、夫が疑問に思うことは当然な状況 ではあるが、異なるタイプの疑問文の使用から、 映画での描き方の違いがわかる。つまり、日本 版では夫がダンスをしていることを(おまえは) 「知ってたのか。」と、Yes-No疑問文で聞いてい る。この疑問文は、実際は確認の機能を帯びては くるものの、基本的には知っていたのか否かを聞 く疑問文形式を取っている。明らかに妻は夫が社 交ダンスをしていることとダンス大会への参加に ついて知っていたからこそダンス大会を見に来た ので、質問自体本来の意味を持たない状況でその ような質問をしたということは夫が目の前の問題 に深入りしたくなく、また、妻にはあまり追及さ れたくないという受身の態度につながる。一方、 米国版では妻が夫のダンスについて既に知ってい たことを前提として、知ることになった経緯につ いて明確に質問している。つまり、夫が積極的に 眼前の問題に立ち向かい、妻への説明責任を果た し、解決への意気込みに通じる質問である。この 二つの異なるタイプの疑問文の違いも場面全体の 印象や解釈に関係している。

統語論に関係する現象をもう一つ取り上げ、日 米映画の基本的な描写の違いを説明する。それは 視点の問題である。特に日本語の統語論ではこの 視点の問題が議論される。例えば、能動態・受動 態、受給動詞を含む構文、使役構文、等が挙げら れる。映画の当該場面では視点の問題に関する表 現はさほど多くないが、2件あった。

(9) 統語情報:視点

	日	英
影動態	妻:あたし一人だけ <u>取</u> り残されたような 気がした。[J10]	妻: You just completely left me out. [E30]
受給動詞	妻:いつかあなたが話 して <u>くれる</u> って信 じてた。[J04] 妻:だけど,なんにも 教えて <u>くれなかっ</u> <u>た</u> 。[J05]	0

映画の日米版の両方に上表のように類似の意味の 文があるが、日本版では主語が話者である妻とす る文構成になっているのに対し、米国版では2人 称代名詞(=夫を指示)になっている。つまり、 日本版では視点が話者(=妻)になっており、米 国版では聞き手(夫)という対比を示している。 日米版における両文を比較すると、日本版の方が 動作主の言及を避けていることとも相まって、相 手を非難する表現ではなく、したがって対決姿勢 がさほど感じられない。一方、米国版での表現は 映画で表されている強い語調とともに主語を2人 称にすることにより、より批判的、対決的な態度 が感じられる。

受給動詞を含む構文に関しては英語に同等の構 文がないので、両言語間の比較はできないが、日 本語内では表現形態として、受給動詞を使用しな い文と比較することは可能である。(9)の表中の 受給構文は次のような非受給構文と比較すること ができる。

- (10) a. いつかあなたが(私に)話すって信じて た。
 - b. だけど、(私に) なんにも教え(言わ) なかった。

受給動詞の使用は単に行動の影響の方向性(行為 者から受益者へ)を表す場合と恩義や感謝の念を 表す場合があるが、(9)の受給動詞文には少なく とも受益者である妻の夫に任せる受身的な態度が 感じられる。

以上、統語論と文の意味論に関わる現象が対話 の理解に影響を持つことを示し、(4)と(5)の違 いに関係することを示した。

3.4 語彙レベル・表現情報

映画や談話分析には使用語彙も大きな役割を果 たす。例えば、使用語彙により、感情、専門知識 や年齢、男女差などが反映される場合もある。日 本版では妻が女性的な表現である終助詞の「の ね」を使っているので、妻は女性的な表現を使用 する人物であることがわかる。分析対象とする場 面において最も特徴的な語彙は感情語・感情表現 である。次の具体例がある。

(11) 語彙情報:感情語・感情表現

	Ħ	米
1	妻:だけど,なんだか <u>怖くて</u> 言い出せな かった。[J03]	妻:It's <u>ridiculous</u> , I know. [E09]
2	妻:ダンスだってわか った時はちょっと <u>安心した</u> けど, [J07]	
3	妻:なんだか <u>悔しい</u> の。 [J12]	
4	妻:自分で確かめるの <u>怖かった</u> 。[J32]	

米国版では1例のみであるが、これは妻の発話である。日本版では4例あり、妻が自らの心情や感情を夫に伝えようとしている。夫を非難するのではなく、自分の気持ちを吐露することにより夫の理解を得ようとしているように思われる。これに対し、米国版の「ridiculous」はある種の感情表現ではあるが、自分の内面を表すのではなく、探偵を雇って夫の行動を調べたことに対する評価を述べる表現であるので、この点日本版の妻の台詞とは全く異なることがわかる。

さらに意味的に見て、「強い表現」がある。ここでは「強い表現」とは、特に対話相者を批判したり、不満を表したり、対話を拒絶したりして相手に負のインパクトをもたらす表現とする。通常の落ちついた会話の内容とは異なり、感情的な側面が強くなる。当該映画では次の下線部のような例がある。

(12) 語彙情報:強い表現

	日	米
1	妻: <u>あたしのせいにする</u> のね。[J22]	妻: No, there's nothing to talk about. [E18]
2	夫: <u>もういい,</u> <u>いい加減に</u> <u>してくれ</u> 。 [J41]	妻: If you want to talk, you can start by explaining what was it that I just saw in there. [E24] What did I witness? [E25]
3		妻: You just completely left me out. [E30]

これらの強い表現を見ても、米国版では強い表現をするのは妻のみである。E18では妻が「話すことなんてない」と言い夫を突き放し、コミュニケーションを拒否しようとしている。また、E24とE25からは妻が夫からの説明を強く求めていることがわかる。

一方、日本版の妻の表現、J22は「私に責任があるというのね」という表現形態を用い、半ば批判的な言い方ではあるが、夫の反応を許す表現にはなっている。この発言に対し、強い口調を伴った発話がJ41である。これは男である夫の発話であり、映画で描かれている妻には言えない表現である。感情的になっているのは妻ではなく、夫である。以上、語彙や表現の面でも妻の描き方の日米差が表れている。

3.5 談話・語用論レベル

次に映画における談話分析・語用論の分野での 情報が映画における描写から得られる印象に関与 していることを明らかにする。語用論的な分析は 文脈の中での現象を扱うことも少なくないので, ここでは談話分析と合わせて議論を進めることに する。

まず、映画の当該場面における談話分析・語用論の分析の対象として注目すべきは隣接ペアである。隣接ペアとは「会話において、異なる話者によって発せられた隣接している2つの発話のことである^{注4}」。分析対象としている(2)と(3)中でここでの分析に関わるデータは次の通りである。

(13) 談話・語用論的情報:日本版

1	夫:知ってたのか。 [J01] 妻:ええ, ずっと前から。 [J02]
2	妻:さっきまで? [J17] 夫:そう。 [J18]
3	夫:でも,今日でダンスは終わった。[J19] 妻:なんで? [J20] あたしのせい? [J21] あたしのせいにするのね。 [J22] 夫:違う。 [J23] そうじゃない。 [J24] しょせん俺には似合わない世界だった んだ。[J25]

妻:あした行くの? [J26] 夫:ええ? [J27] 妻: 先生、イギリス行っちゃうんでしょ う? [I28] 5 夫:はあーっ、何でも知ってるんだな。 [J29]

(14) 談話·語用論的情報:米国版

夫: Beverly, how did you know? [E05] 1 妻: Because I hired a detective. [E06] 夫: Beverly, please, please … [E15] 妻:No. [E16] 夫: Beverly, please, can we talk …[E17] 3 妻: No, there's nothing to talk about. [E18] 夫: Please, will you talk to me? [E23] 妻: If you want to talk, you can start by explaining what was it that I just saw in there. [E24] 妻: What did I witness? [E25] 夫: I'm not having an affair. [E26] 妻: Why didn't you tell me, John? [E31] You've got to answer that. [E32] 夫: I was ashamed ··· [E33] 妻: Ashamed of what? [E34] Of dancing? [E35] 夫: Well, no, no…[E36] 妻: Well, then of what? [E37] 夫: Of wanting to be happier. [E38] When we have so much. [E39]

隣接ペアの説明の際の例文は次のような1対の対 話になっていることが多い。

(15) 談話・語用論的情報:隣接ペアの例注5

a. あいさつ-あいさつ 咲:ただいま。

麻子:お帰りなさい。(青春家族2課)

b. 問い-答え

咲:今の会社、辞めちゃうってこと?

久司:いや、辞めないよ。(青春家族2課)

c. 依頼-受諾

麻子:四谷お願いします。

運転手:はい。(青春家族1課)

d. 誘い-受諾

麻子:お食事の前に、私たちも行く?

咲:そうね。(青春家族2課)

e. 提言-受諾

久司:ヤツらに悪いからさ,今日んところ は、これで打ち止めっていうことに しない?

麻子:いいわよ。(青春家族2課)

f. 謝り-受容

麻子:こんな時間に電話して, ごめんなさ

久司:いや。(青春家族5課)

これらの例はすべて第1部分の発話に対し、その 応答である第2部分が典型的な表現になってい る。(13)の1番と2番の対話はこの範疇のもの であり、問い-答えの対になっている。

当然のことながら、実際の会話ではこのような 単純な談話構造を示さない場合も少なくない。例 えば. (13) の3では妻は夫がダンスを諦めたこ とについて, 「なんで」, 「あたしのせい?」, 「あ たしのせいにするのね」と3つの文を発してい る。質問や主張を連続して発言している。これに 対し、夫は「違う」「そうじゃない」と答えてい る。明らかにこの返答は「なんで?」に対する返 答ではない。しかし、夫の「違う」「そうじゃな い|が「あたしのせい?|に対する返答なのか. または「あたしのせいにするのね」に対する返答 なのか、さらに妻のこの2文を一まとめにした返 答なのかの判定は困難である。これは隣接ペアの 数を数える時に直面する本質的な問題となるが. どのように対処するかについて後ほど説明する。

同様の複雑な談話構成が(14)の6のように米 国版にも認められるが、日本版の例から分析す る。(15)で確認した典型的な隣接ペアがより複 雑な構造になったのが次のような例である^{注6}。

(16) 挿入連鎖の例

(子供と母親が店先で)

A:これ買ってもいい? 質問1-

B:890円ね。

持ってきたお金で足りるの? 質問27

A: うん。 答え 2 🗕

B: そう、それなら買ってもいいわよ。 答え1-この談話構造は質問1と答え1の間に質問2-答 え2がそっくり組み込まれている。これは挿入連 鎖と呼ばれる構造である。(15)と(16)は明快な

構造を持つ例であるが、実際の会話では更に複雑な構造がある。本稿で扱っている(13)と(14)に 更に複雑な構造が含まれることを説明し、そこから隣接ペアに関係する規則を提案する。

まず、日本版はすでに取り上げた(13)の3である。説明のために、再録する。

(17) 拡張隣接ペアを含む挿入連鎖

夫:でも,今日でダンスは終わった。[J19]

妻:なんで? [J20]

んだ。[J25]

あたしのせい? [J21] あたしのせいにするのね。[J22] 夫: 違う。[J23] そうじゃない。[J24] しょせん俺には似合わない世界だった

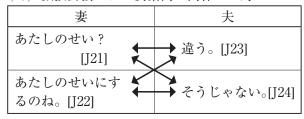
妻は夫が今日ダンスを辞めることにしたことを 聞き、J20~J22の三つの文を発している。最初の J20は理由を問う質問であるが、J21とJ22は自分 に責任があるかどうかを聞き、確認する表現で ある。これに対し、夫はJ23とJ24で否定してい る。この2文は同等の意味を持つ。そして、最後 にJ25の文で理由を提示している。J21とJ22の文 タイプは前者が二値疑問文であるのに対し、後者 は平叙文ではあるが、双方とも否定の対象になり えるので、123と124と関連付けられ、隣接ペア を構成することになる。ここでは文がまとまりと して隣接ペアを構成しているので、「拡張隣接ペ ア」と呼んでおく。従来考えられている隣接ペア というものは2文1組で捉えられるが、本稿では これらの例から、複数の文のまとまり全体で、第 1部分(J21+J22)と第2部分(J23+J24)を構 成し、各部分を構成する文同士の等質性により、 いずれの部分の文は他の部分の全ての文と隣接ペ アを構成することを提案する。したがって、拡張 隣接ペアの特性を規定すると次のようになる。

(18) 拡張隣接ペアの特性

第1部分と第2部分の両方,または片方が複数の文で構成され,且つ,双方の文のいずれの文ももう一方の全ての発話と1対1の隣接ペアとなる。

従って、図式で示すと次にようになる。

(19) 拡張隣接ペアの要素間の関係: 2対2



拡張隣接ペアを成す第1部分群と第2部分群は (17)の図からもわかるように挿入連鎖を構成することができる。この対話の最後 (J25)で夫が理由を述べているが、これはJ20の妻の理由質問に対する返答となる。つまり、J20からJ25の一連の発話は拡張隣接ペアを含む挿入連鎖の構造を持つというように分析できるのである。

次に米国版の(14)における6番の例である。 ここでも説明のため、これらの例文を再録する。

(20) 拡張隣接ペアの英語例

妻: Why didn't you tell me, John? [E31] You've got to answer that. [E32]

夫: I was ashamed … [E33] 妻: Ashamed of what? [E34] Of dancing? [E35]

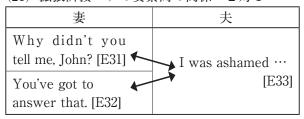
夫:Well, no, no…[E36]

妻: Well, then of what? [E37]

夫: Of wanting to be happier. [E38] When we have so much. [E39]

E31では妻は夫が妻に内緒で社交ダンスを習っていたことに対し、その理由を詰問している。夫の返答を待たずに、E32で返答を強要している。それに対し夫はE33のように答え始めるが、典型的な1文対1文の隣接ペアを基準にすると、これが妻のどちらの発話に対して隣接ペアを構成しているかを判定することは困難である。しかしながら、(17)で提案した拡張隣接ペアの例として分析することができる。(17)では2文対2文で拡張隣接ペアが構成されていたが、この例は2文対1文の構成である。米国版の当該部分も(19)の日本版と同様にE33の文がE31とE32のいずれの文ともそれぞれ隣接ペアを構成する可能性がある。

(21) 拡張隣接ペアの要素間の関係: 2対1



挿入連鎖を含む隣接ペアは基本的には関連する 発話文の意味・機能を前提にした近接性による が、本節で扱っている対話文を分析すると、統語 的な要素も関わることがわかる。次の例のよう に、対話相手の発話に基づく省略文がその例であ る。

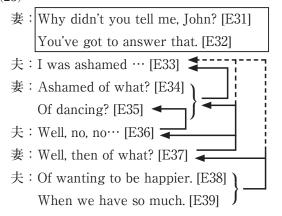
(22) 隣接ペアの統語的要素

A: なんか画面切り替わった?

B:と思うんだけどね。^{注7}

(22A) はこの文だけで統語的に完全な文である 一方, (22B) は統語的には不完全文であるが, この文は(22A)との関連性において、統語的に も意味・機能的にも初めて成立する。つまり、 (22B) は (22A) の命題である [画面が切り替 わった]を継承した省略であると考えなければ、 文自体の解釈も不可能である。同様の現象は実際 の会話では珍しくない。また, (20)の台詞にも 含まれている。統語的、意味的な依存関係を矢印 で示してみると次のようになる。

(23)



妻が説明を要求した(E31とE32)ので、夫は E33で返答を始めるが、口が重いので妻が急がす ようにE34とE35で立て続けに質問しているが、 この2文は不完全文であり、補うべき要素はE33 の夫の文に基づいている。(23)の一連の発話の 中で注目すべきはE37の妻の質問である。文中の 「then」は明らかに直前の夫の発話, E36を受け た上での表現である。この意味でE37はE36に関 係づけられる。しかしながら、妻のE37は直接的 には自分のE34とE35の両方を受けている。E34 とE35は夫のE33を受けているので、E37は最終 的に、また、統語的にはE33を受けているので、 この状況を点線で表した。このように一つの文が 談話レベル、統語レベル、意味・機能レベルの異 なるレベルで異なる先行発話に関係づけられるこ とがわかる。

本節の最後に(13)と(14)の日米の夫婦の会話 から談話分析から見えてくる日米映画の差につい て指摘する。これらの会話における談話分析に関 する理論的な側面について見てきたが、そこで扱 わなかった部分にその特徴が含まれている。

(13)の日本版を見ると、特に4と5に特徴的 な対話が認められる。つまり、J26で妻が明日行 われるダンスの先生のためのさよならダンスパー ティーに行くかどうかを尋ねると、 夫は妻がその ことについては知らないと思っていたので、行く か否かという最も典型的な回答をするかわりに T27で「ええ?」という驚きや当惑を表す発話を 行っている。また、これに続き、妻がダンスの先 生がイギリスにダンス留学に行くことを確認する ためにJ28のように水を向けると、夫はその直接 的な回答をせずに、「はあーっ、何でも知ってい るんだな。(J29)」というように間接的に、つま りダンスの先生がイギリスに行くという命題を前 提にした答え方をしている。いずれの場合も「質 問→明確な答え」というような構造ではない。つ まり、緊張感や対立的な雰囲気を抑えるような対 話になっている。

これに対して(14)の米国版は対照的である。 6番にも一部該当する部分があるが、1番から5 番の対話全てが、質問-回答という単純な、典型 的な隣接ペアでできている。つまり、このタイプ の対話は緊迫した雰囲気、対立的な議論、裁判の ような事実の確認を連続的に行い、結論を導く質 疑応答などによく見られる。米国版では険悪な雰 囲気のうちに会話が行われている。このように談 話分析の面でも日米映画の基本的な違いが現れて いる。

4. まとめ

本稿では文学作品とは異なる映画という言語お よび非言語情報を含む媒体を利用し、様々な言語 学的範疇から映画における場面の総合的な雰囲気 を解析できることを提案した。また、その分析を 通して、基本的な内容は近いものの、原作日本版 と米国リメイク版との間で夫婦の描き方が異なる ことを示した。日本版ではダンス大会後の夫婦の 会話は全体的に静かな雰囲気で行われ、発話数は 妻の方が圧倒的に多いが、妻は自分の気持ちを吐 露することが多く、批判的な態度ではない。唯一 感情的な表現をするのは、社交ダンスをしている ことを秘密にされていた妻ではなく、その話をし たくない夫の方である。また、(2c) のように、 夫が初めて妻に謝る場合も、I43の1文のみで、 しかも社交ダンスにのめり込み、それを妻に秘密 にしていた理由の説明が全くない。

一方、米国版では日本版とは異なる描き方をし ている。分析対象の場面の発話数は日本版と同じ であり、夫婦のそれぞれの発話数もほぼ同等であ るが、妻の態度は日本版とは異なり、音声的に も, 語彙, 表現形態, 談話現象の面でも, 感情的 に夫に説明責任を果たすことを要求している。 また、夫は日本版同様、(3b) のように妻に謝る が、日本版とは異なり、E41とE42のように説明 を加えている。日本版では情緒的な対話になって いるのに対し、米国版では質疑応答といった内容 のやりとりが言語化されていることが日米版の比 較からわかった。

本稿における分析から各レベルにおいてどのよ うな要素があるかをまとめると次のようになる。 なお、この表は概要の分析であり、完全な分析を 試みたものではないことを付け加えておく。

表-4 言語範疇と会話の理解

	音範疇と会話の# 「一一記名	
範疇	現象	何がわかるか
音声的 側面	発 ア ピ 音 ウ サ で で で で で で で で で で で で で	社会言語学的情報 (方言, 男女差, 世 代差, 母語話者·非 母語話者) 感情 性別
語彙レベル	語彙量 語彙の種類	知的レベル 社会言語学的情報 (方言, 男女差, 世代 差, 母語話者・非母 語話者, 専門知識) 興味 感情
文レベル	文のタイプ 文の数 話者の文の数 助詞	質問 主張 感情 態度 対話の支配度・発話 の優性性 視点 コード・スイッチング
談話レベル	応進話段相発フ言会統 をり数相発すい話の をの成相発がいいでは を を の が を の が は の の イ よ の の く と の の く と の の く り と り の く り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	感情 態度 対話の支配度・発話 の優性性 視点 論理 発話の意図 コード・スイッチング
語用論レベル	発話行為 発話の意図 遂行動詞 協調の原理	感情 態度 対話の支配度・発話 の優性性 視点 論理 発話の意図 コード・スイッチング
非言語 コミュニ ケーション	接近 視線 顔の表情 領身振り 姿勢 笑い	話者の関係 感情 態度

本稿ではこれに加えて、映画の台詞の談話分析 をしつつ、談話分析の基本的な提案を「拡張隣接 ペア」として行った。この分析を発展させるため に拡張隣接ペアの詳しい成立条件についての考察 を深めると同時に、談話分析と統語論・意味論的 な関連性についての議論を深めたい。

謝辞

匿名の審査員に原稿を丁寧に読んでいただき. 詳細に改善点を指摘していただきました。感謝い たします。

注

1. 日本版の基本情報

	『Shall we ダンス?』 (原作)
公開年	1996年
監督	周防正行
脚本	周防正行
夫 (俳優)	杉山正平 (役所広司)
妻(俳優)	杉山昌子 (原日出子)

米国版の基本情報

	『Shall We Dance?』(リメイク版)
公開年	2004年
監督	Peter Chelsom
脚本	Audrey Wells
夫 (俳優)	John Clark (Richard Gere)
妻(俳優)	Beverly Clark (Susan
	Sarandon)

- 2. 「激しい口調」とは映画における普段の夫婦 の会話と比較し、感情的な表現で際立って音 量(音圧が)高いと判断した状況を示す。
- 3. 基本的には統語的な文を基準に計算したが、 節の切れ目で長めのポーズがある場合 (E38-E39) は2文として計算した。
- 4. 近藤, 他 (2012:158L)
- 5. (15)の例は堀口(1997:21-22)から掲載。
- 6. (16)の例文はメイナード (1993:26) から掲 載。

7. 高木, 他 (2016:97) から掲載。

参考文献

- 1. 近藤安月子, 小森和子編(2012)『研究社 日 本語教育事典』研究社
- 2. 高木智世, 細田由利, 森田笑(2016)『会話 分析の基礎』ひつじ書房
- 3. 林宅男編(2008)『談話分析のアプローチ 理 論と実践』研究社
- 4. 堀口純子 (1997)『日本語教育と会話分析』 くろしお出版
- 5. メイナード・K・泉子 (1993)『会話分析』 く ろしお出版

ビデオ教材

- 1. NHKソフトウェア (1992) ビデオ教材「青 春家族 | 1-1
- 2. NHKソフトウェア (1992) ビデオ教材「青 春家族」1-2

(ookawa.hideaki@nihon-u.ac.jp)